



|                  |                                                                                       |
|------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|
| Title            | 台湾華語にみられるSerial Verb Constructions の目的語の情報構造                                          |
| Author(s)        | 中村, 真衣佳                                                                               |
| Citation         | 言語科学研究, 3, 96-111                                                                     |
| Issue Date       | 2026-03-31                                                                            |
| DOI              | <a href="https://doi.org/10.14943/2115.99130">https://doi.org/10.14943/2115.99130</a> |
| Doc URL          | <a href="https://hdl.handle.net/2115/99130">https://hdl.handle.net/2115/99130</a>     |
| Type             | journal article                                                                       |
| File Information | 03_09.pdf                                                                             |



# 台湾華語にみられる Serial Verb Constructions の目的語の情報構造

中村真衣佳

## 1. はじめに

従来、中国語の Serial Verb Constructions (以下 SVC) は、普通話<sup>1</sup>の研究の枠組みで議論されてきた。台湾華語<sup>2</sup>を独立して扱うものは管見の限り見られない。一般的に台湾華語は普通話と同一言語であるとみなされていることが背景にある。本稿では、台湾華語にみられる SVC の統語構造と目的語の情報構造はどのようなものかを明らかにするために、台湾華語の言語資料で収集した用例の類型を SVC の観点からの研究である Tao (1984)、Chang (1990) を参考にして整理する。本稿の主な主張は、①  $[V_1 \text{ NP } V_2]$  の目的語 NP は再提示的であること、②  $[V_1 \text{ NP}_1 V_2 \text{ NP}_2 V_3]$  の  $V_1$  と  $V_2$  の間にある直接目的語  $\text{NP}_1$  は提示的であること、③ 後半の  $[V_1 V_2 \text{ NP}]$  は、前方に  $[V_1 V_2 \text{ NP}]$  構造を伴い直接目的語 NP が主題化する場合と提示的になる場合があることである。

本論文の構成は、以下の通りである。第2節では、SVC の概要について述べる。第3節では、台湾華語にみられる SVC の統語構造について分析したうえで、目的語の情報構造について統語構造との関係から整理する。第4節は結論である。

---

<sup>1</sup> 中国語で中国語のことを「汉语（漢語）」という。中国大陸において、「現代漢語」には漢民族の言語という意味で使用される方言と標準語の「普通話」がある。方言が自然発生したものであるのに対して、「普通話」は人工的に整備、制定、推奨されたものである（新井 2021）。中国大陸では、1949 年 10 月 1 日、「全国であまねく通じる言語」という意味の「普通話」の制定が国家的方針として掲げられ、法整備や言語調査を経て 1956 年に現在に続く「普通話」の教育がはじまった（新井 2021）。普通話の定義は、中国北方方言およびその語彙を基礎とし、北京音を標準とし、魯迅など近代文学作品に使用された語法に従うものである（新井 2021）。

<sup>2</sup> 中国大陸と台湾は 1949 年を境に、異なる政権下で異なる言語政策が立案・実施される。国民党は 1945 年以降、台湾を接収してから、「標準国語」の普及を推進するために、台湾に来る以前に制定していた『国音常用字彙』を基準に『国音標準彙編』（1947）を編纂し、この書物が、台湾の中国語に大きな影響を与えたという（林・吉田 2022）。つまり国民党は、台湾において、伝統を引き継ぎ、『国音常用字彙』の規範を守ることを選択したため、今日の台湾華語の語彙は、民国初期に中国で制定された標準を引き継いだものが少なくない。ゆえに、1950 年以降に言語規範化を進めた中国大陸とは多くの違いがある（林・吉田 2022）。台湾では標準中国語のことを「国語」または「華語」というのが一般的であるが、近年は対外的に「台湾華語」という名称が使用されるようになった。これは、政治的なアイデンティティの変化を反映するものであるため、「国語」＝「台湾華語」と考えてよい（新井 2021）。台湾の「国語」＝「台湾華語」にも規範は存在するが、台湾語（閩南語）からの影響により、規範とは異なっている部分がある（新井 2021）。本稿で扱う用例もそのような例が中心である。

## 2. 先行研究とその問題点

### 2. 1 Serial Verb Constructions の概要

SVCの一般的な定義について確認する。Aikhenvald (2006)によると、SVCは、等位接続、従属、統語的標示なしで1つの述語としてふるまう動詞の連続であり、1つの事態として概念化されたことを言い表す単独の節である (Aikhenvald 2006:1)。そして、とりわけ典型的なSVCは項を共有することで、1つの事態の結束した (cohesive)、緊密に結合 (tightly-knit) した表現を構成する (Aikhenvald 2006:3)。Aikhenvald (2006)は、SVCが以下4つのパラメーターを基盤に分類されると述べている。1つは、構成である。SVCには、対称SVCと非対称SVCがある。対称SVCは、意味的そして文法的に制限されていないクラスから互いに選択される2つ以上の動詞から成る。一方、非対称SVCは、文法的、または、意味的に制限されたクラスからの動詞を含む。制限された動詞とは、例えば、coverb<sup>3</sup>のように限られたカテゴリーにある動詞であると解釈できる。2つ目は、複数の動詞要素の隣接と非隣接の対立である。SVCの動詞は、互いに隣り合う場合ともうひとつの構成要素である名詞がそれらの間に介入することを許す場合があるという。3つ目は、語構成である。SVCの構成要素は、独立した文法的、または、音韻的な語を形成することも、しないこともある。4つ目は、SVCの中の文法的なカテゴリーの標示についてである。主語と目的語の人称、テンス、アスペクト、モダリティ、否定、結合価 (valency changing) のような動詞のカテゴリー (verbal categories) は、1つの構文に1回だけ標示される (SINGLE MARKING) かもしれない、または、全ての要素に表示できる (CONCORDANT MARKING<sup>4</sup>) という (Aikhenvald 2006:3-4)。

次に、普通話に最も頻繁に見られるSVCについて整理する。普通話のSVCに共通することは、明らかな結合の標示を伴わず、2つ以上の動詞句 (VP) が連続していて、共通の項を共有し、zero anaphoraを示すことである (Hansell 1993:193)。Tao (1984)は、普通話のSVCの最も基本的な3つの種類を挙げている (Hansell 1993:199-202)。1つは“juxtaposition of full VP’s that express separate events”であり、2つ目はpivot construction、3つ目はcoverb constructionである。juxtaposition (並置<sup>5</sup>)とは、連続する同一の主語が配置された2つまたは、それ以上の節を含むSVCのタイプであり、1つ目以外の文は、ゼロ主語である (Hansell 1993:198<sup>6</sup>)。このタイプの基準の構造は[NP<sub>1</sub>V<sub>1</sub> NP<sub>2</sub>V<sub>2</sub> NP<sub>3</sub>]である。‘pivot construction’ (Chao 1968, Li & Thompson 1981)とは、最初の動詞の目的語が、2つ目の動詞の主語と同一のSVCであり、等しい名詞句 (equi-NP) は、削除されるか、または、zero anaphoraであり、その名詞句はV<sub>1</sub>とV<sub>2</sub>両方の項となる (Hansell 1993:199)。基準の構造は、[(NP<sub>1</sub>) V<sub>1</sub> NP<sub>2</sub><sup>7</sup> V<sub>2</sub> (NP<sub>3</sub>)]である。‘coverb construction’におけるcoverbは、前置詞と動詞のあいまいな領域に存在する。それらは主

<sup>3</sup> coverbとは、動詞と同音異義の前置詞の両方を表現しているとみなされる不完全な動詞クラスの要素であり、別の動詞と共に単独で述語として生じない (Matthews 2006:70-71)。本稿のcoverbの捉え方については後述する。

<sup>4</sup> 他穿上了大衣出去了。(Tao 1984, Hasell 1993:197)「彼はコートに来て出て行った」のようなアスペクトの「了」が2つある例が該当すると考えられる。

<sup>5</sup> 本稿では、juxtapositionをcoordinationの日本語訳である「並列」と区別して「並置」と訳す。

<sup>6</sup> Juxtaposition is a type of SVC that involves two or more sentences with identical subjects arranged in a series, with the subject of all but the first sentence deleted (zero subject) (Hasell 1993:198).

<sup>7</sup> NP<sub>2</sub>が、pivotとなる。

に斜格の項を導入するために使用される (Hansell 1993:201)。基準の構造は、[NP<sub>1</sub> V<sub>1</sub> NP<sub>2</sub> V<sub>2</sub> (NP)] である。現代中国語文法では coverb を動詞から文法化したものであると認めながら前置詞として扱う (Wang 2025:1-2)。そして、coverb とみなされる要素は、典型的に動詞の前方に置かれる (Wang 2025:9, Hansell 1993:201)。本稿では、coverb の定義を捉えなおして、動詞的要素が欠如したものも coverb と捉える。つまり、前置詞 (介詞) 以外も coverb に含める。Matthews (2006:70) によると、coverb は、別の動詞と共に、単独で述語として生じないという構造的な特徴を持つという。したがって、本稿では、単独で述語になれない動詞由来の要素を coverb と捉えることにする。

## 2. 2 普通話における SVC の研究で台湾華語の SVC をとらえた場合の問題点

本節では、台湾華語にみられる SVC が、普通話の SVC の研究で述べられている特徴とどの程度整合するかという点に着目し、台湾華語の SVC の基本的な統語構造と特徴を整理する。これまでの普通話の SVC の研究で述べられていることが、台湾華語の SVC にも当てはまるかどうかを考察すると、3つの問題点があることに気がつく。以下、これら問題点について説明する。1つ目の問題点は、前節で述べたように、Hansell (1993) によると、Tao (1984) は、普通話の基本的な SVC として、① juxtaposition (並置)、② pivot 構文、③ coverb 構文を挙げている。しかし、台湾華語の SVC は、Tao (1984) の3つの基本的な普通話の SVC のパターンが排他的に示されるわけではなく、複数のパターンが重なり合うことが多い。

- (1) a. 我                    就                    寫                    信                    給  
           1sg.SBJ-私    ADV-すぐ    V<sub>1</sub>-書    NP<sub>1</sub>.OBJ.PIV-手紙    V<sub>2</sub>-gei  
           中國            的                    老家            和                    吾郎            先生。(「情書」『鐵道員』)  
           NP<sub>2</sub>-中国    GEN-の    NP-田舎    CONJ-と    PSN-吾    TITLE-さん  
           「私はすぐに手紙を書いて中国の実家と吾郎さんにあげた」  
       b. 我就寫信。  
       c. (我) 給中國的老家和吾郎先生 (信)。

(1a) は、juxtaposition (並置) でありながら、V<sub>1</sub>「寫」と V<sub>2</sub>「給」が目的語を共有する pivot 構文でもある。先述のように、juxtaposition は、同一の主語を伴う2つ以上の節が連続していて、最初の節以外の節はゼロ主語 (zero subject) である (Tao 1984)。この構文は、別々の出来事と区切られた時間を示す (Tao 1984:198)。(1a) は、(1b、c) のように、事態を2つに分けることができる。このことから、Tao (1984) が提示する juxtaposition に該当すると考えられる。加えて、V<sub>1</sub>「寫」と V<sub>2</sub>「給」は OBJ の「信」を共有する pivot 構文でもある。

2つ目の問題点は、台湾華語の SVC は、「coverb は最初の動詞に現れる」という Tao (1984) と Chang (1990) の指摘に反しているということである。まず、coverb の定義については、2.1 節ですでに述べたが、本稿では、coverb を広義に捉える。Matthews (2006) や Wang (2025) の定義から、中国語における coverb は、中国語学の枠組みでいう「介詞」(前置詞/後置詞) を指すと考えられる。(1) (2) の「給」は一見して、どのような要素であるかは、曖昧である。なぜなら、「中国語のほとんどすべての前置詞と大部分の後置詞には内容語の語源がはっきりと残されており、大部分の前置詞には動詞としての用法がいまなお残っている」(劉著、杉村他訳 2013:356) と指摘されている通り、内容語か機能語かを区別するのは難しい場合がある。Matthews (2006) の言うように、coverb が動詞と同音異義の両方を表現しているとみなされる不

完全な動詞クラスの要素であるなら、「給」は内容語であれ機能語であれ coverb ということになる。そのように考えると、(1) (2) のように、「給」を含む例は、coverb 構文でもあるということになる。coverb とみなされる要素について、台湾華語では、(1) (2) に示す通り、 $V_1$  の前方に位置しない「給」が頻繁にみられる。つまり、Tao (1984) と Chang (1990) の「coverb は最初の動詞に現れる」という指摘に合致しない場合がある。

- (2) 拿來 一 只 牛乳瓶 遞 給 喬凡尼 (『銀河鐵道之夜』)  
 $V_1$ -持つて- $V_2$ -くる 1 CL  $NP_1$ .PIV-牛乳瓶  $V_1$ -渡す  $V_2$ -gei PSN-ジョバンニ  
 「牛乳瓶を持ってきてジョバンニに渡す」

次に、3つ目の問題点について述べる。ここで指摘したいことは、pivot 構文の統語的な構造についてである。pivot 構文 (Chao 1968, Li & Thompson 1981) の代表的な構造は、最初の動詞の目的語が、2つ目の動詞の主語と同一となる構造である (Hansell 1993:199)。中国語学の枠組みでは、これを「連系式」や「兼語式」などと呼び、「前段の客語がクサビとなり、後段の主語の役目を兼ねるもの<sup>8</sup>」(藤堂・相原 1985:149) である。しかし、台湾華語において頻繁に見られるのは、 $V_1$  の目的語が  $V_2$  の主語ではなく、 $V_2$  の目的語である構造、つまり、 $V_1$  と  $V_2$  が目的語である  $NP_1$  を共有する構造である。本稿では、pivot 構文を従来の「連系/兼語式」よりも広く捉えて、複数の動詞が同一の項を共有するものと考ええる。

以上のように、台湾華語の SVC は、Tao (1984) において、普通話の SVC の基本パターンとして挙げられている3つが排他的に示されるのではなく、重なり合うことがある。また、coverb が  $V_1$  の後方に置かれる場合がある。さらに、pivot 構文には目的語の共有が頻繁にみられる。この3つが、台湾華語の SVC を従来の中国語研究の枠組みで普通話と同様に捉える際に生じる問題点である。

### 3. 台湾華語の SVC

#### 3. 1 台湾華語の SVC の統語構造

本節では、台湾華語の SVC の統語構造の類型を整理する。Chang (1990:290) は、狭い意味での普通話の一般的な SVC は、 $[NP[_{VP} V NP V]]$  または、 $[NP[_{VP} V V NP]]$  という語順であり、1つだけアスペクト標示が可能であると述べている。さらに、coverbal phrases の構造である  $[_{VP} V NP V (NP)]$  もアスペクト標示が1つだけであるため、SVC であると指摘している (Chang 1990:290)。本研究では、Chang (1990) が取り上げる2つの SVC の語順類型から、SVC の動詞の配置を ①複数の動詞が離れて現れ、その間に他の要素が挟まるタイプの  $[V_1 NP V_2]$  と ②複数の動詞が隣接する  $[V_1 V_2 NP]$  に単純化する。以下、3.1.1 節では、台湾華語の  $[V_1 NP V_2]$  の用例を分析する。そして、3.1.2 節では、台湾華語の  $[V_1 V_2 NP]$  の用例を分析する。

##### 3. 1. 1 台湾華語の $[V_1 NP V_2]$ の統語構造

本節では、 $[V_1 NP V_2]$  に該当する台湾華語の SVC の統語構造を分析する。3.1.1.1 節では、典

<sup>8</sup> 藤堂・相原 (1985:150) によると、これには3タイプある。1) 多谢谢你提醒了我。2) 是谁说这样的话？3) 我来得不巧了。これらには、 $V_1$  と  $V_2$  両方の目的語である例がない。1) 「你 (あなた)」と 2) 「誰 (だれ)」は主語、3) は「来 (来る)」という動詞を「得」により名詞化し、共有している。



型となる語順である  $[V_1 \text{ NP } V_2]$  の統語構造を分析する。そして、3.1.1.2 節では、 $[V_1 \text{ NP } V_2]$  に類似する語順の  $[V_1 \text{ NP}_1 V_2 \text{ NP}_2 V_3]$  の統語構造を分析する。

### 3. 1. 1. 1 $[V_1 \text{ NP } V_2]$ の統語構造

本節では、 $[V_1 \text{ NP } V_2]$  の語順を持つ SVC の統語構造を分析する。

- (3) 我 就 寫 信 給  
 1sg.SBJ-私 ADV-すぐ  $V_1$ -書く  $\text{NP}_1$ .OBJ.PIV-手紙  $V_2$ -give  
 中國 的 老家 和 吾郎 先生。 [再掲 (1)]  
 $\text{NP}_2$ -中国 GEN-の  $\text{NP}$ -田舎 CONJ-と PSN-吾郎 TITLE-さん  
 「私はすぐに手紙を書いて中国の実家と吾郎さんにあげた」

(3) は、Tao (1984) が提示する複数の動詞が隣接しない juxtaposition (並置) であり、 $V_1$ 「寫」と  $V_2$ 「給」が OBJ「信」を共有する pivot 構文であり、「給」を伴う coverb 構文である。以下、この例の統語構造を分析する。

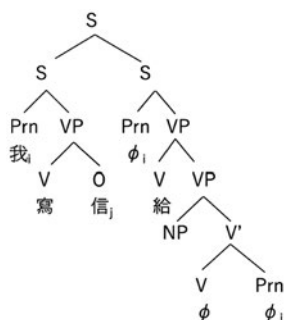


図1 (3) の統語構造

図1は、(3) の統語構造を示したものである。(3) は、1つ目の節「我(就) 寫信」と2つ目の節「 $\phi_i$  給中國的老家和吾郎先生 $\phi_j$ 」が接続詞を用いることなく連続している。「我」は、1つ目の節と2つ目の節の主語であるが、2つ目の節ではゼロ主語となっている。

2つ目の節の「給」は、多義的である。例えば、事物の移動先を表す解釈(英語の“to”のような意味)も可能であることから不完全動詞である coverb として機能していると考えられる。しかし、直接目的語である「信」が「給」の後方に省略されていると考え、本動詞「あげる」という解釈も可能である。したがって、(3) の coverb「給」は、動詞であると考え。「給」を動詞であると分析すると、 $V_2$ 「給」は、目的語である NP「信」が省略されていると考えられ、2つ目の節は、二重目的語構文である、そのため、図1では、空の V を含む VP 殻構造となっている。

- (4) 我們 還 有 很多 事 要 處理,  
 1pl.SBJ-私達 ADV-まだ  $V_1$ -ある QUAN-たくさん  $\text{NP}$ .PIV-こと AUX-しなければならない  $V_2$ -処理する  
 「私たちはまだ多くの、しなければならないことがある」

(4) も Tao (1984) が提示する動詞が隣接しない juxtaposition (並置) であり、 $V_1$ 「有」と  $V_2$ 「處理」が OBJ「很多事」を共有する pivot 構文である。(4) に「給」のような coverb がない点は、(3) と異なるが、語順は同様である。以下、この例の統語構造を分析する。

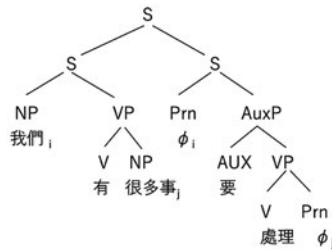


図2 (4) の統語構造

図2は、(4) の統語構造を示したものである。(4) は、1つ目の節「我們(還)有很多事」と2つ目の節「 $\phi_i$  要處理 $\phi_j$ 」が接続詞を用いることなく連続している。「我們」は、1つ目の節と2つ目の節の主語であるが、2つ目の節ではゼロ主語となっている。また、 $V_2$ 「處理」が目的語である NP「很多事」を省略している。つまり、 $V_2$  が目的語を省略している構造は (3) と同様である。

- (5) 都 忘 了 還 有 這 東 西 能 用,  
 ADV-全部 V-忘れる PERASP ADV-まだ  $V_1$ -ある PN-この NP.PIV-もの AUX-できる  $V_2$ -使用する  
 「まだ使えるものがあることを忘れていた」

(5) の下線部も juxtaposition (並置) で、 $V_2$ 「用」が OBJ「這東西」を省略している。以上、(3) (4) (5) は、 $[V_1 \text{ NP } V_2]$  の主要な例である。これらは、2つの節が接続詞を用いずに隣接しており、2つの事態でありながら1つの事態のように示されている点から、juxtaposition である。そして、 $V_2$  が目的語を省略し、 $V_1$  の目的語 NP を共有している点から pivot 構文である。また、(3) は、「給」があるため coverb 構文でもある。

### 3. 1. 1. 2 $[V_1 \text{ NP}_1 V_2 \text{ NP}_2 V_3]$ の統語構造

本稿では、 $[V_1 \text{ NP } V_2]$  の下位分類と考えることのできる  $[V_1 \text{ NP}_1 V_2 \text{ NP}_2 V_3]$  の例を見る。

- (6) 她 還 煮 飯 給 我 吃 呢。(『鐵道員』)  
 3sg.SBJ-彼女 ADV-まだ  $V_1$ -煮る  $\text{NP}_1$ -ご飯  $V_2$ -gei  $\text{NP}_2$ -私  $V_3$ -食べる MOD.SFP  
 「彼女はまだご飯を煮て、私に与えて食べさせる<sup>9</sup>」

(6) は、 $[V_1 \text{ NP } V_2]$  の発展形である。 $[V_1 \text{ NP}_1 V_2 \text{ NP}_2 V_3]$  の語順であることから、juxtaposi-

<sup>9</sup> 我炒了一个菜给他吃。「私は、料理を一品作って彼に与えて食べさせた」という例の「吃(食べる)」と「菜(料理)」は、意味上、動作と受動者である(朱著、杉村・木村訳1995:231)。この例と(6)は、同様であると考えられる。

tion であり、V<sub>2</sub> が coverb 「給」であることから coverb 構文でもある。しかし、V<sub>3</sub> 「吃（呢）」があることで、前節で述べた (3) とは、「給」が異なるふるまいとなる<sup>10</sup>。

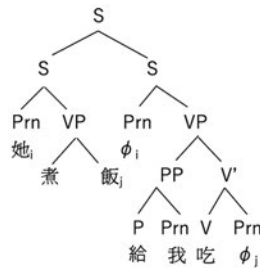


図3 (6) の統語構造

図3は、(6) の統語構造を示している。(6) の1つ目の節の「她（還）煮飯」と2つ目の節の「φ<sub>i</sub> 給我吃φ<sub>j</sub> 呢」は、2つの事態でありながら、接統詞は用いられていない。「她」は2つの節の主語であるが、2つ目の節は、ゼロ主語である。これらについては、(3) と同様である。しかし、(6) は、V<sub>2</sub> 「給」の後方に V<sub>3</sub> 「吃」があるため、「給」は、前置詞であると分析される。

- (7) 有 件 大事 忘 了 告 訴 你,  
V<sub>1</sub>-ある CL NP<sub>1</sub>.PIV-重要なこと V<sub>2</sub>-忘れる PER.ASP V<sub>3</sub>-告げる NP<sub>2</sub>-あなた  
「あなたに伝え忘れた大事なことがある」

(7) も、[V<sub>1</sub> NP V<sub>2</sub>] の発展形である。(7) は、juxtaposition であり、V<sub>3</sub> 「告訴」が目的語である NP<sub>1</sub> 「(一) 件大事」を省略して、V<sub>1</sub> 「有」が V<sub>2</sub> 「忘」と NP<sub>1</sub> 「件大事 (重要なこと)」を共有していることから pivot 構文でもある。

### 3. 1. 2 [V<sub>1</sub> V<sub>2</sub> NP] の統語構造

本節では、[V<sub>1</sub>V<sub>2</sub> NP] の語順を持つ SVC の統語構造を分析する。

- (8) 拿 來 一 只 牛奶瓶 遞 給 喬凡尼 [再掲 (2)]  
V<sub>1</sub>-持つ V<sub>2</sub>-くる 1 CL NP.PIV-牛乳瓶 V<sub>1</sub>-渡す V<sub>2</sub>-gei NP.PSN-ジョバンニ  
「牛乳瓶を持ってきてジョバンニに渡す」

(8) は、[V<sub>1</sub> V<sub>2</sub> NP] の語順類型に該当する例である。(8) は、図4と図5に示すように、前半と後半の2つに分けて分析する。

<sup>10</sup> V<sub>3</sub> があると「給」は本動詞としての機能が希薄になる。要因は、V<sub>3</sub> の前方に位置するためであると考えられる。詳しくは、別稿に譲る。



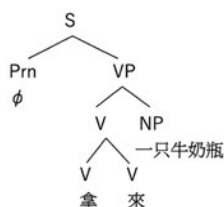


図4 (8) 前半の統語構造

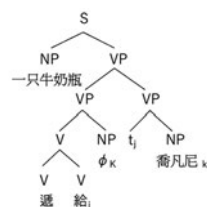


図5 (8) 後半の統語構造

図4は、 $V_1V_2$ の「拿來」、図5は、 $V_1V_2$ の「遞給」のように、隣接する動詞の連続がみられる。図5の動詞の隣接には、「給」があり、「給」は主要部として分析される<sup>11</sup>。また、図4と図5の統語構造から、(8)の「一只牛奶瓶(牛乳瓶)」は、「拿來」と「遞給」の目的語であり、pivot構文であることがわかる。これにより、Aikhenvald (2006) が述べるように、1つの事態の結束として緊密な結合を描写している。

- (9) 我 拾 起 一 片 星 辰 放 在 泥 土 上。(『夢十夜』)  
 1sg-私  $V_1$ -持ち  $V_2$ -上げる 1 CL NP-星  $V_1$ -置く  $V_2$ -zai NP-土 LOC-上  
 「私はひとかけらの星を拾い上げて土の上に置く」

(9) も、 $[V_1 V_2 NP]$ の語順類型に該当する例である。(9) も、図6と図7に示すように、前半と後半の2つに分けて分析する。

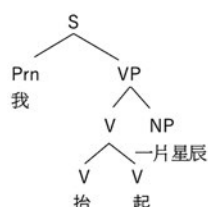


図6 (9) 前半の統語構造

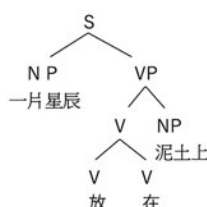


図7 (9) 後半の統語構造

図6では、 $V_1V_2$ が「抬起」、図7では、 $V_1V_2$ が「放在」のように隣接する動詞の連続が見られる。図7の動詞の隣接には、「在」がみられ、「在」も主要部として分析される<sup>12</sup>。図6と図7の統語構造から、(9)は、「抬起」と「放在」が目的語NPの「一片星辰」を共有するpivot構文であり、1つの事態として強固で緊密な結合を描写している。

- (10) 乙松 把 人偶 交 給 少女。(『鐵道員』)  
 SBJ.PSN-乙松 BA-を NP<sub>1</sub>.OBJ.PIV-人形  $V_1$ -手渡す  $V_2$ -gei NP<sub>2</sub>-少女

<sup>11</sup> (8) では、 $V_2$ 「給」は省略できないが  $V_1$ 「遞」は省略できることから、「給」は主要部 (head) である。つまり、この「給」は、 $V_1$ 「遞」よりも本動詞に近く、 $V_1$ 「遞」の方が、動詞の機能が希薄であると考えられる。

<sup>12</sup> (9) も  $V_1$ 「放」は省略できるが、 $V_2$ 「在」は省略できないことから、「在」は主要部 (head) である。

「乙松は人形を少女に手渡す」

(10) は「把」構文<sup>13</sup>と呼ばれる構文である。(10) の下線部は  $[V_1 V_2 NP]$  の語順に該当する。 $V_1$  が「交」であり、 $V_2$  が「給」である。この coverb「給」も、主要部として分析される。

以上 (8) (9) (10) は  $[V_1 V_2 NP]$  という語順を伴い、(8) (9) は pivot 構文の構造を持つことを確認した。表 1 は、台湾華語の SVC の語順を  $[V_1 NP V_2]$  と  $[V_1 V_2 NP]$  の 2 つに類型化し、各語順を持つ SVC が juxtaposition (並置) と pivot 構文と coverb 構文のうちどの構文を持つかを分類したものである。表 1 から、 $V_1$  と  $V_2$  の間に他の要素があり、 $V_2$  が「給」のときに、juxtaposition と pivot 構文と coverb 構文の 3 つが重なり合うことがわかる。「給」は、前置詞か動詞かで曖昧であるが、(3) は動詞として分析し、(6) は前置詞として分析した。そして、 $V_1$  と  $V_2$  の間に他の要素が挟まり、 $V_1$  が「有」のとき、juxtaposition と pivot が重なる。そして、 $V_1$  と  $V_2$  が隣り合うときは、 $V_2$  が主要部となり、 $V_1$  が coverb となる。

表 1 台湾華語の SVC の用例の語順と統語構造

| 語順                  | 用例   | $V_1$ | $V_2$ | juxtaposition | pivot | coverb |
|---------------------|------|-------|-------|---------------|-------|--------|
| $V_1 NP V_2$        | (3)  | 寫     | 給     | ✓             | ✓     | ✓      |
|                     | (4)  | 有     | 處理    | ✓             | ✓     |        |
|                     | (5)  | 有     | 用     | ✓             | ✓     |        |
| $V_1 NP V_2 NP V_3$ | (6)  | 煮     | 給     | ✓             | ✓     | ✓      |
|                     | (7)  | 有     | 忘     | ✓             | ✓     |        |
| (後半) $V_1 V_2 NP$   | (8)  | 遞     | 給     |               | ✓     | ✓      |
|                     | (9)  | 放     | 在     |               | ✓     | ✓      |
|                     | (10) | 交     | 給     |               |       | ✓      |

### 3. 2 SVC の統語構造と情報構造の関係

本節では、台湾華語の  $[V_1 NP V_2]$  または、 $[V_1 V_2 NP]$  の語順を伴う例について、文脈を分析したうえで、SVC における統語構造と目的語の情報構造の関わりについて考察する。語順は情報構造との相関があると指摘されている。Lambrecht (1987) は、Sentence Focus structures (SF) と Predicate Focus structures (PF) の区別について、“preverbal vs postverbal subject NP in Italian” (Lambrecht 1987:366) の例として (11) を提示している。

(11) a. A: What's the matter?

B: Mi fa male il COLLO.  
1sg.DAT-私 3sg. V-する NP-痛い DEF-その NP-首

b. A: How's your neck?

B: Il collo mi fa MALE.  
DEF-その NP-首 1sg.DAT-私 3sg. V-する NP-痛い

<sup>13</sup> 「把」構文とは、「動詞述語文で本来動詞の後に位置している目的語に相当する成分を、介詞“把”の目的語として動詞の前に置き、目的語に対して何らかの処置を加えたり結果を生じさせたりすることを表す構文」(三宅 2018:188) である。

(11a) のように名詞が動詞に後置する例が Sentence Focus structures (SF) であり、(11b) のように名詞が動詞に前置する例が Predicate Focus structures (PF) である。Lambrecht (1987) は、SF structures について、提示 (presentational) として特徴づけられるとしながらも、後に続く談話で前方照応を指示するために話者が前もって入手できない談話指示を取り入れるときに使用することを意味するとは考えていない。つまり、Lambrecht は、SF structures を談話領域で指示対象を取り入れるものであると考えている (Lambrecht 1987:375)。以上のことから、本稿では、新情報の presentational を「提示的」、旧情報の presentational を「再提示的」と呼んで、以下の分析に使用する。「提示的」とは、聞き手にとって新情報である NP を話し手が聞き手に示すことであると考え。一方、「再提示的」とは、話し手と聞き手により一度共有されている情報について、改めて聞き手に向けて示すことであると考え。

PF structures は、主語が主題、そして、断定の作用域 (the scope of the assertion) と同時におきる情報単位として定義される (Lambrecht 1987:375)。語順と情報構造については、Li and Thompson (1981) でも指摘がある。Li and Thompson (1981) は、次のように述べている。“The unmarked postverbal object may be taken as indefinite, while any of the three possible preverbal positions renders it definite” (Li and Thompson 1981:20-21)。つまり、(12) に示すように文頭の “book” は主題化することを指摘している。

- (12) shū wǒ mǎi le  
book I buy PFV/CRS  
The book, I bought it (topic/contrastive) (Li and Thompson 1981:20-21)

### 3. 2. 1 [V<sub>1</sub> NP V<sub>2</sub>] の目的語の情報構造

本節では、[V<sub>1</sub> NP V<sub>2</sub>] に分類される台湾華語の例について、文脈をもとに目的語である NP が、当該文脈において情報構造上どのような役割を担っているかを考察する。

#### (13) 【吾郎が偽装結婚した相手女性の遺体と対面して慟哭する場面】

「振作一點啦，吾郎大哥，你到底是怎樣啊？」吾郎也知道自己不正常，他從小到大幾乎沒有哭過。「這女的是很可憐沒錯啦，但你也沒必要哭啊？這下難辦了，吾郎大哥，你入戲太深了是吧？」吾郎自己也不曉得，為什麼一個陌生的外國女子死去，會讓他肝腸寸斷？這個疑念才剛從心底冒出來，眼淚就跟著決堤了，吾郎像野獸一樣哀號痛哭

「a. 我們 還 有 很多 事 要 處理，

1pl.SBJ-私達 ADV-まだ V<sub>1</sub>-ある QUAN-たくさん NP.OBJ.PIV-こと AUX-しなければならない V<sub>2</sub>-処理する 明天得去公所辦理手續，火葬完還要拿回遺骨。不然我打電話給葬儀社，剩下的我來處理，沒問題吧？」

(「しっかりと下さいよ、吾郎さん。いったいどうしちゃったんすか」たしかにどうかしていると吾郎は思った。子供の時分から、泣いた記憶などなかった。「そりゃあ、可哀想すよ。だけど、なにも泣くことないじゃないの。まいったなあ、ハマっちゃったんか、吾郎さん」見知らぬ外人女の死が、どうしてこんなに悲しいのだろう。自分自身を疑わしく思うそばから、涙がとめどなく溢れ、吾郎は獣のように呼えながら泣いた。「b. まだやることいっぱいあるんですよあした役所に行って手続きしなきゃ。お骨にして持って帰んねえと。葬儀屋に電話して、自分がやっちゃうけど、いいすか」(「ラブレター」『鉄道員』)

(13) は、日本語原文の小説「ラブレター」の一場面であり、サトシと吾郎の会話である。吾郎は、偽装結婚した外国人女性の遺体と対面して、感情移入し涙を流す。サトシは、そんな吾郎の姿を見て、(13b) のように言う。その翻訳が (13a) である。この「很多事 (たくさんのこと)」は、聞き手の吾郎にとって旧情報であるが、再提示的に示されている。

(14) 【警察署で身分を証明するものがあるかどうかサトシが吾郎に確認する場面】

「健保卡行嗎？」「啊，那個就夠了，上面應該有老婆的名字吧？」那是新的國民健康保險卡，聽阿聰的說法，吾郎才知道被保人一欄有妻子「高野白蘭」的名字。

「a. 都 忘 了 還 有 這 東 西 能 用，

ADV-全部 V-忘れる PER-ASP ADV-まだ V<sub>1</sub>-ある PN-この NP.OBJ.PIV-もの AUX-できる V<sub>2</sub>-使用する 健保卡一定派得上用場，去醫院也要結清一些費用。」

（「保険証でいいかな」「あ、それでいいす。もしかして、奥さんの名前も入ってるんじゃないすか」新しい国民健康保険証だった。サトシから言われて、被保険者の氏名欄に「高野白蘭」という妻の名が書きこまれていることを吾郎は初めて知った。「b. うっかり忘れてたけど、これ、役に立ちますよ。きっと病院の払いとかあるから」）（「ラブレター」『鉄道員』）

(14) も小説「ラブレター」の一場面である。(14) は、登場人物の吾郎とサトシの会話である。サトシが吾郎になにか身分を証明するものはないかどうか尋ねている。それに対して、吾郎が保険証を出した時に、サトシが吾郎に対して、(14b) のように言う。その翻訳が (14a) である。この時の「這東西」は「保険証」のことである。「保険証」は、聞き手の吾郎にとって、旧情報のものであるが、ここで再提示的に示している。

### 3. 2. 2 [V<sub>1</sub> NP<sub>1</sub> V<sub>2</sub> NP<sub>2</sub> V<sub>3</sub>] の目的語の情報構造

coverb 構文で [V<sub>1</sub> NP<sub>1</sub> V<sub>2</sub> NP<sub>2</sub> V<sub>3</sub>] に分類される台湾華語の例について、文脈をもとに直接目的語である NP<sub>1</sub> が、当該文脈において情報構造上どのような役割を担っているかを考察する。

(15) 【電話がかかってきて、乙松が電話の相手と話す】

這時候電話響了，乙松套上拖鞋來到辦公室：

「喂？啊，和尚你好，新年快樂。抱歉啊，一不小心就跟你孫女聊了這麼久。

哎呀，你孫女真可愛，

a. 她 還 煮 飯 給 我 吃 呢。

3sg.SBJ-彼女 ADV-まだ V<sub>1</sub>-煮る NP<sub>1</sub>.OBJ.PIV-ご飯 V<sub>2</sub>-gei NP<sub>2</sub>-私 V<sub>3</sub>-食べる MOD-SFP （電話が鳴った。サンダルをつっかけた乙松は事務室に下りた。「もしもし。ああ、秘書さんかい。明けましておめでとう。おねえちゃん、すっかり引き止めちゃった。いやあ、めんこい子だねえ。b. いま飯まで食わせてもらってるべさ」）（『鉄道員』『鉄道員』）

(15) は、小説「鉄道員」の一場面である。日本語原文の (15b) の翻訳である (15a) は、主人公の乙松が電話の相手に対して、(15a) の直接目的語 NP<sub>1</sub> 「飯 (食事)」を提示的に示しており、聞き手にとって新情報である。

(16) 【サトシが亡くなった外国人女性の思い出を語る場面】

「吾郎大哥，這地方不錯吧？」阿聰穿著並不搭調的雙排釦西裝，用手肘擦拭玻璃窗，語

氣頗有哄吾郎開心的味道「哪裡不錯啊？烏漆墨黑的什麼也看不到。」  
「這一帶沒有度假旅館或公寓，大多是別墅和員工宿舍。所以海岸也沒啥遊客，我夏天來這裡玩的時候，整天都跟她們一起游泳。」「跟誰游泳？」

「就那些女的啊，a. 我 買 泳裝 給 她們 穿，  
1sg.SBJ-私 V<sub>1</sub>買う NP<sub>1</sub>.OBJ.PIV-水着 V<sub>2</sub>-gei NP<sub>2</sub>-彼女たち V<sub>3</sub>-着る  
就在那邊的海岸游泳。白蘭好像是穿深藍色的比基尼吧」

(「ねえ吾郎さん。いいところでしょう、ここ」似合わぬダブルのスーツの肘で窓を拭きながら、サトシは吾郎の機嫌をとるように言った。「いいところも何も、真暗で見えねえよ」「リゾートホテルとか、マンションとかないからね。ほとんど別荘か社員寮なんすよ。だから海もすいてて。自分、夏に来たときね、一日あいつらと泳いだんです」「あいつら、って？」「だから、女たち。b. 水着買ってやって、そこの海岸で。白蘭は紺のビキニだったっけ」)(「ラブレター」『鉄道員』)

(16) は、小説「ラブレター」の一場面である。登場人物である吾郎とサトシが会話している。この会話では、サトシが過去の出来事を思い出して、吾郎におしえている。その主な内容は、吾郎には一度も会ったことのない偽装結婚した外国人女性があり、サトシはその吾郎の偽造結婚相手を含む外国人女性たちと夏に海岸に来て、彼女たちに水着を買って一緒に泳いだことがあるという内容である。

(16b) の日本語原文を翻訳したのが (16a) である。サトシが (16a) のように吾郎に伝えた直接目的語 NP<sub>1</sub>「泳装 (水着)」は、聞き手である吾郎にとって初めて聞くものであり、新情報である。つまり、この場面でも、NP<sub>1</sub>「泳装 (水着)」が提示的に示されている。

(17) 【乙松が亡くなった妻が生きていた時の駅の様子を回想する場面】

住日回憶歷歷在目，當年這裡只剩下最後一座礦坑，候車室擠滿等車的高中生，氣氛熱鬧非常。每天早上大約有三十多個學生，男生都穿金色鈕釦的學生服，女生就穿水手服。乙松在發車前會先點名，

a. 妻子 也 常 準備 甜粥 和 甜酒  
SB<sub>1</sub>-妻 ADV-も ADV-いつも V<sub>1</sub>-準備する NP.OBJ.PIV-甘い粥 CONJ-と NP<sub>1</sub>.OBJ.PIV-甘酒  
給 學生 享用。  
V<sub>2</sub>-gei NP<sub>2</sub>-学生 V<sub>3</sub>-楽しむ

(最後の山が残っていたころの、高校生で溢れ返っていた待合室の喧噪を、乙松はありありと思い出した。金ボタンとセーラー服が、毎朝三十人ばかりも集まっただろうか。乙松は発車の前に点呼をとり、b. 妻はよく汁粉や甘酒を子供らにふるまったものだ。)(「鉄道員」『鉄道員』)

(17) は、小説「鉄道員」の一場面である。乙松という物語の主人公が、昔の駅の喧噪を思い出すなかで、妻が学生たちにお汁粉と甘酒をふるまったことを思い出している。この直接目的語 NP<sub>1</sub>「甜粥和甜酒 (お汁粉と甘酒)」は、読み手にとって新情報であり、読み手に向けて提示的に示している。

(18) 【乙松が亡くなった娘がもし生きていたらどのようなことをしているかを想像する】

乙松沒說的是，如果雪子還活著，也會承襲母親的手藝，



- a. 煮 好喝 的 味噌湯 給 他 喝 吧。  
 V<sub>1</sub>煮る ADJ-おいしい GEN-の NP<sub>1</sub>.OBJ.PIV-味噌汁 V<sub>2</sub>gei NP<sub>2</sub>彼 V<sub>3</sub>飲む MOD.SFP  
 每天送走最後一班列車，回到家裡也有這些溫熱的飯菜等他享用。  
 (ユッコが生きていたら、b. 母から教わった味噌汁を、こうして食わしてくれる  
 のだろう。最終を送り出したあと、いつもこんな夕餉が自分を待っているのだろう  
 と、乙松は思った。)(『鉄道員』『鉄道員』)

(18) も (17) と同様に「鉄道員」の一場面である。(18) は、主人公の乙松が、亡くなった娘を思い出しながら、「もし娘が生きていたら味噌汁を食わせてくれるだろう」と想像している。(18b) の翻訳である (18a) の「好喝的味噌湯 (美味しい味噌汁)」は、読み手にとって新情報である。したがって、読み手に「好喝的味噌湯」を提示的に示している。

以上から、[V<sub>1</sub> NP<sub>1</sub> V<sub>2</sub> NP<sub>2</sub> V<sub>3</sub>] の SVC において、直接目的語である NP<sub>1</sub> は、聞き手 (読み手) にとって新情報であり、提示的に示されることがわかる。提示的に示される NP<sub>1</sub> は、(16) (17) (18) のように、話し手の記憶や想像の中にあるものである場合と (15) のように眼前にあるものである場合がある。

### 3. 2. 3 [V<sub>1</sub> V<sub>2</sub> NP] の目的語の情報構造

本節では、[V<sub>1</sub> V<sub>2</sub> NP] 語順を伴う台湾華語の例について、直接目的語である NP が当該文脈において情報構造上どのような役割を担っているかを考察する。

- (19) 【ジョバンニが牛乳屋に向いて今日は牛乳が届かなかったことを伝える】

一位穿著寬鬆白長褲的人隨即走了出來。「有什麼事嗎?」「我們家今天沒有收到牛奶」「啊，真是抱歉。」

- a. 那 人 馬上 從 裡面  
 PN-あの NP-人 ADV-すぐ ABL-から LOC-中  
 拿 來 一只 牛奶瓶 遞 給 喬凡尼，  
 V<sub>1</sub>持って V<sub>2</sub>くる 1-CL NP<sub>1</sub>.OBJ.PIV-牛乳瓶 V<sub>1</sub>-渡す V<sub>2</sub>gei NP<sub>2</sub>PSN-ジョバンニ  
 (白い太いずぼんをはいた人がすぐ出て来て立ちました。「何のご用ですか。」「今日牛乳がぼくのところへ来なかったのですが。」「あ済みませんでした。」その人はすぐ奥へ行って b. 一本の牛乳瓶をもって来てジョバンニに渡しながらいきました。)  
 (『ジョバンニの切符』『銀河鉄道の夜』)

(19) は『銀河鉄道の夜』の「ジョバンニの切符」の一場面である。(19) は、ジョバンニが牛乳が届いていないことを牛乳屋に告げると、牛乳屋が一本の牛乳瓶を持ってきてジョバンニに手渡す場面である。読み手にとって「牛乳瓶」は、すでに話題に上がっているため旧情報である。そして、前半の [V<sub>1</sub>V<sub>2</sub>] である「拿來」と後半の [V<sub>1</sub>V<sub>2</sub>] である「遞給」は、項を共有している。このことから、「遞給」からみると、牛乳瓶は主題であるため、これは、直接目的語の NP<sub>1</sub> が主題化する例である。主題化した「牛乳瓶」がどのような状態になったかを後半の [V<sub>1</sub>V<sub>2</sub>NP] で述べている。

- (20) 【自分が死んだら大きな真珠貝で穴を掘って星のかけらを墓標において待っていてほしいとお願いされた主人公がその通りにしようとする】



我走到庭院，用珍珠貝控了個坑，又大又光滑的珍珠貝邊緣異常尖銳。賞我控土時，貝殼裡閃爍著月光，還嗅到混濕的泥土氣息不久便控好深坑。我將女人放進坑裡，鋪上柔軟的土；每鋪一次土，貝殼裡就閃爍著月光。

a. 然後 我 拾 起 一 片 星 辰 放 在 泥 土 上。

CONJ-それから 1sg.SBJ-私 V<sub>1</sub>-持ち V<sub>2</sub>-上げる 1 CL NP<sub>1</sub>.OBJ-星 V<sub>1</sub>-置く V<sub>2</sub>-zai NP<sub>2</sub>-土 LOC-上  
(自分はそれから庭へ下りて、真珠貝で穴を掘った。真珠貝は大きな滑かな縁の鋭い貝であった。土をすくう度に、貝の裏に月の光が差してきらきらした。湿った土の匂もした。穴はしばらくして掘れた。女をその中へ入れた。そうして柔らかい土を、上からそっと掛けた。掛ける毎に真珠貝の裏に月の光が差した。b. それから星の破片の落ちたのを拾って来て、かるく土の上に乗せた。) (『第一夜』『夢十夜』)

(20) は、夏目漱石の『夢十夜』の一場面である。文脈から、(20) の「星の破片」は読み手にとって、旧情報である。そして、(20) も (19) と同様に前半の [V<sub>1</sub>V<sub>2</sub>] である「抬起」と後半の [V<sub>1</sub>V<sub>2</sub>] である「放在」が直接目的語の NP<sub>1</sub>「星の破片」を共有している。したがって、「放在」から見ると、「星の破片」は主題化されている。

以上の統語構造と情報構造の関係から、(19) の直接目的語である「一只牛奶瓶（一本の牛乳瓶）」は、その後に続く VP「遞給喬凡尼」の主題解釈が可能であり、一本の牛乳瓶について、それがジョバンニの手に移動したことを表す。(20) の直接目的語である「一片星辰」も、その後に続く [V<sub>1</sub> V<sub>2</sub> NP] である「放在泥土上」の主題解釈が可能であり、星の破片について、それが土の上に置かれたことを表す。これらは、後半の [V<sub>1</sub> V<sub>2</sub> NP] が直接目的語 NP<sub>1</sub> の結果や状態を述べていると考えられる。しかし、例外もある。以下、例外について述べる。

(21) 【ジョバンニがお母さんと会話する場面】

「媽媽的牛奶還沒送來嗎？」「大概還沒來吧。」「那我去拿！」「我不急，沒關係的，倒是你先吃點東西吧！」

a. 你 姊姊 好像 用 番茄  
2sg.PN-あなた NP-お姉さん ADV-ようだ V<sub>1</sub>-で NP<sub>1</sub>-トマト  
做 了 點 什麼 放 在 那裡。「那我先去吃了。」  
V<sub>2</sub>-作る PERAS-た CL PN.NP<sub>2</sub>.OBJ-なにか V<sub>1</sub>-置く V<sub>2</sub>-zai NP<sub>3</sub>.LOC-あそこ  
(「お母さんの牛乳は来ていないんだろうか。」「来なかったねえ。」「ぼく行ってとって来よう。」「ああ、あたしはゆっくりでいいんだからお前さきにおあがり、b. 姉さんがね、トマトで何かこしらえてそこへ置いて行ったよ。」「ではぼくたべよう。」)  
(「家」『銀河鉄道の夜』)

(21) は、(19) (20) 同様に、後半に [V<sub>1</sub>V<sub>2</sub> NP] 語順を伴う。しかし、(19) (20) のように、前半の [V<sub>1</sub>V<sub>2</sub>NP] の直接目的語 NP<sub>1</sub> が後接する [V<sub>1</sub>V<sub>2</sub>NP] の主題になることができない。なぜなら、疑問詞を含む「點什麼」は文頭に置けないためである。したがって、(21) は、後半が [V<sub>1</sub>V<sub>2</sub> NP] 語順でありながら NP<sub>2</sub>「點什麼」(何か) は、前半の [V<sub>1</sub>V<sub>2</sub> NP] の V<sub>2</sub> と結びつきが強く、提示的解釈が生じる。

本節では、後半に [V<sub>1</sub>V<sub>2</sub> NP] の語順を伴う例について、2つのタイプがあることを指摘した。1つは、直接目的語について、後接する [V<sub>1</sub>V<sub>2</sub> NP] が、結果や状態を述べるものである。2つ目は、直接目的語を提示的に示す場合である。この意味的な差異は、直接目的語が後接する [V<sub>1</sub>V<sub>2</sub>

NP] に対して、独立して文頭に置くことができるかが基準となる。

SVC の統語構造と情報構造の関係を表 2 にまとめる。(13) (14) は、 $[V_1 \text{ NP } V_2]$  の NP が  $V_1$  に対して提示的となるととき、 $[V_1 \text{ NP } V_2]$  の  $V_2$  に対して NP が主題化となるとときに、pivot 構文で重なり合うことで再提示的となる。(15) から (18) は、 $V_2$  が  $V_3$  の前置詞的に機能することで、 $[V_1 \text{ NP}_1]$  の  $V_1$  と  $\text{NP}_1$  の結びつきが強くなり  $\text{NP}_1$  が提示的になる。(19) (20) は、前半の  $[V_1 V_2 \text{ NP}]$  で再提示的に取り入れられた  $\text{NP}_1$  について、後半  $[V_1 V_2 \text{ NP}]$  でその  $\text{NP}_1$  がどのような結果や状態を述べる例である。(21) は、前半に  $[V_1 \text{ NP}_1 V_2 \text{ NP}_2]$  を伴い、不定の新情報の  $\text{NP}_2$  を提示的に取り入れているが、 $\text{NP}_2$  が後半  $[V_1 V_2 \text{ NP}]$  の主題になれないのは、疑問詞を伴い節の文頭で独立できないからである。したがって、(21) は提示的である。

表 2 SVC の統語構造と情報構造の関係

| 用例   | 語順                                    | $V_1$ | $V_2$ | $V_3$ | NP     | 情報構造 |
|------|---------------------------------------|-------|-------|-------|--------|------|
| (13) | $V_1 \text{ NP } V_2$                 | 有     | 處理    | —     | 很多事    | 再提示  |
| (14) | $V_1 \text{ NP } V_2$                 | 有     | 用     | —     | 這東西    | 再提示  |
| (15) | $V_1 \text{ NP } V_2 \text{ NP } V_3$ | 煮     | 給     | 吃     | 飯      | 提示   |
| (16) | $V_1 \text{ NP } V_2 \text{ NP } V_3$ | 買     | 給     | 穿     | 泳裝     | 提示   |
| (17) | $V_1 \text{ NP } V_2 \text{ NP } V_3$ | 準備    | 給     | 享用    | 甜粥和甜酒  | 提示   |
| (18) | $V_1 \text{ NP } V_2 \text{ NP } V_3$ | 煮     | 給     | 喝     | 好喝的味噌湯 | 提示   |
| (19) | (後半) $V_1 V_2 \text{ NP}$             | 遞     | 給     | —     | 一只牛奶瓶  | 主題化  |
| (20) | (後半) $V_1 V_2 \text{ NP}$             | 放     | 在     | —     | 一片星辰   | 主題化  |
| (21) | (後半) $V_1 V_2 \text{ NP}$             | 放     | 在     | —     | 點什麼    | 提示   |

#### 4. 結論

本稿では、台湾華語にみられる SVC の統語構造と目的語の意味関係がどのようなものであるかを明らかにするために、台湾華語の言語資料で収集した SVC の基本的なパターンと特徴を Tao (1984)、Chang (1990) を参考にして整理した。そして、以下 3 点を指摘した。①  $[V_1 \text{ NP } V_2]$  の目的語 NP は再提示的である。なぜなら、 $[V_1 \text{ NP}]$  の「NP 提示」と  $[\text{NP } V_2]$  の「NP 主題化」が重なり合うためである。②  $[V_1 \text{ NP}_1 V_2 \text{ NP}_2 V_3]$  の  $V_1$  と  $V_2$  の間にある直接目的語  $\text{NP}_1$  は提示的である。 $V_3$  により  $V_2$  が前置詞の役割をもち  $[V_1 \text{ NP}]$  の提示的解釈が機能するためである。③ 後半  $[V_1 V_2 \text{ NP}]$  の直接目的語 NP は、主題化する場合と提示的になる場合がある。提示的になる場合は、直接目的語 NP が節の最初で独立できない場合である。

#### 参考文献

- Aikhenvald, Alexandra Y. (2006). "Serial Verb Constructions in Typological Perspective", *Serial Verb Constructions: A Cross-linguistic Typology*, ed. by Aikhenvald, Alexandra Y. & Dixon, R. M. W. 1-68. Oxford & New York: Oxford University Press.
- Chang, C.H. (1990) "On serial verb constructions in Mandarin Chinese:VV compounds and Co-verbal phrases", *from the (1990) Ohio State Mini-Conference on serial verb constructions*, ed. By Joseph and Zwicky, pp.288-315.
- Charles N.LI and Sandra A. Thompson (1981) "MANDARIN CHINESE: A Functional Reference Grammar" Berkeley: University of California press.

- Hansell, Mark (1993) "Serial Verbs and Complement Constructions in Mandarin: A Clause Linkage Analysis", Edit by Van Valin, Robert D. Jr, *Advance in Role and reference grammar*, 197-233, N.Y.
- Lambrecht, Kund (1987) "Sentence focus, information structure, and the thetic-categorical distinction", *Berkeley Linguistics Society*, 13, 366-381.
- Matthews, Stephen (2006) "On Serial Verb Constructions in Cantonese" *Serial Verb Constructions: A Cross-linguistic Typology*, ed. by Aikihenvald, Alexandra Y. & Dixon, R. M. W. pp.69-87. Oxford & New York: Oxford University Press.
- Tao, Liang (1984) "Clause Linkage and Zero Anaphora in Mandarin Chinese". *Davis Working Papers in Linguistics* 1.36-102
- Wang, Pin (2025) "Chinese coverbal phrases and coverbs: a systemic function account" *Lingua*, 321, pp.1-23.
- 新井一二三 (2021) 『中国語は楽しい—華語から世界を眺める—』 筑摩書房
- 三宅登之 (2018) 『中級中国語読みとく文法』 白水社
- 朱德熙著、杉村博文・木村英樹訳 (1995) 『文法講義—朱德熙教授の中国語文法概説』 白帝社
- 林初梅・吉田真悟 (2022) 『台湾華語』 (世界の言語シリーズ) 大阪大学出版会
- 藤堂明保・相原茂 (1985) 『新訂中国語概論』 大修館書店
- 劉丹青著、杉村博文・大西博子・島村典子・鈴木慶夏・西香織・橋本永貢子訳 (2013) 『語順類型と介詞理論 WORD ORDER TYPOLOGY and A THEORY OF ADPOSITIONS』 日中言語文化出版社

## 用例出典

- 浅田次郎 (2000) 『鉄道員』 (集英社文庫) 集英社
- 浅田次郎著、葉挺昭訳 (2023) 『鐵道員』 圓神出版社
- 夏目漱石 (1986) 「夢十夜」『夢十夜：他二編』 (岩波文庫) 岩波書店
- 夏目漱石、楊明綺訳 (2021) 『夏目漱石短篇集 夢十夜與永日小品』 三友圖書
- 宮澤賢治著・徐宇甄訳 (2023) 「喬凡尼的鐵道」『銀河鐵道之夜』 八方出版

## グロスの略語

|                    |                                                            |
|--------------------|------------------------------------------------------------|
| 1 (first person)   | PER (perfect)                                              |
| ABL (ablative)     | PIV (pivot)                                                |
| ADV (adverb)       | pl (plural)                                                |
| ASP (aspect)       | PN (pronoun)                                               |
| AUX (auxiliary)    | PSN (personal name)                                        |
| CL (classifier)    | QUAN (quantifier)                                          |
| CONJ (conjunction) | SBJ (subject)                                              |
| DAT (Dative)       | SFP (Sentence Final Particle)                              |
| DEF (Definite)     | sg (singular)                                              |
| GEN (genitive)     | TITLE (address title)                                      |
| LOC (locative)     | V <sub>1</sub> (first verb in a serial verb construction)  |
| NP (noun phrase)   | V <sub>2</sub> (second verb in a serial verb construction) |
| OBJ (object)       |                                                            |

(ナカムラ マイカ・北海道大学言語科学研究室・博士後期課程)